



## We are full of the joys of spring now♪

新年度がスタートしました。

78回生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

私たちは「国際・探究推進部」(田尻・土井・西岡・吉田)です。

「Trinity」は元々、国際総合科の活動報告として作成していたのですが、昨年度からは普通科の探究活動や学校全体での国際交流事業なども含め広く書くようになり、国際総合科には全員配布、普通科にはクラス掲示をしてもらっています。

「北播磨で世界に一番近い」高校として、さまざまな情報を取り上げていきたいと思っておりますので、1年間、よろしくお願いいたします。



## 「いちご狩り🍓」で異文化交流♥

国際・探究推進部では、年間に40近い国際交流に関わる事業を行っています。

3月28日(火)は、三木みどりロータリークラブと三木市国際交流協会共催による「いちご狩りと西山牧場」に、21名の本校生徒がボランティアとして参加してくれました。

外国にルーツを持つ子どもたちが44名参加し、本校生徒はそれぞれにそのアテンド役を務めました。ちなみに子どもたちのルーツとなる国は、それぞれ、アメリカ、カナダ、フィリピン、中国、ベトナム、パキスタン、ラオス、ブラジル、パラグアイ、ミャンマー、ナイジェリア、ネパール、ロシアの計13か国です。

当日は、THE RED Mountain berry farm MIKI NAKAZATO (三木市細川町中里)でいちご狩りを楽しみ、西山牧場(三木市吉川町豊岡)で牧場体験とピザ作り体験をしました。

参加した生徒は、「最初は顔も何も知らない状態だったので、うまく話せるか不安でしたが、ペアの子たちや協会の方々のおかげで体験を楽しむことができました。年齢の違う子どもたちの接し方や、表情やジェスチャーでのコミュニケーションの取り方を学ぶこともできました。次回のボランティアも是非参加したいです！」などと語っていました。

暖かい日で、広い牧場では小学生の鬼ごっこの相手をしている生徒もいました。「元気いっぱい小学生たちで、少人数の大人ではとても対応できなかったのも、たくさん来ていただいて助かりました。」と国際交流協会の河越さんからも喜びのことばをいただきました。



# 実用英語技能検定

実用英語技能検定、昨年度、最終の数字です。2級合格者は、漢字検定と合わせ、卒業式の折に表彰されます。新入生の皆さんも、ぜひ積極的に挑戦してくださいね。

	3年生	2年生	1年生	合計
2級合格者数	48(14)	24(5)	2(0)	74(19)
準2級合格者数	79(17)	49(9)	36(13)	164(39)



- ・ ( ) 内は国際総合科。
- ・ 学年は昨年度。

年度末、国際総合科の学科集会を行い、4人の卒業生から受験や留学、ボランティア活動などについて話をしてもらいました。普通科の皆さんにも共通する話題かと思しますので、シリーズで紹介させていただきます。

国際総合科5期生からのメッセージ(1)

## 「ボランティア活動の魅力」

神戸松蔭女子学院大学 文学部 英語学科 O・Rさん

私は週に1回程度、外国人に日本語を教えるボランティアをしていました。普段はもちろん「教えられる側」で、英語はもちろん、三木高だとフランス語や中国語などの言語を習得する立場にある中で、日本語を教えることは貴重で新鮮な経験でした。自分たちと同じように言語を学ぶ人の姿を見ることは、私の学習のモチベーションにも繋がりました。教室はとってもアットホームな雰囲気、外国人の友達もたくさんできました。

私は、ボランティアの継続は自分の強みになると考えています。クラスでもボランティアをしている人は少数で、自分が唯一無二の、貴重な存在になれるように感じました。

また、大学入試にも必ず役立ちます。どの型式の推薦入試でも、自己推薦書を提出したり面接で自己PRを述べたりすることがありますが、ボランティア活動は最強の自己PRになると思います。例えば、ボランティア活動に参加しようとするのは「積極性」に繋がりますし、何らかのかたちで他人を助けようとするのは「主体性」「思いやり」に、学校の勉強や部活などとの両立は「努力」をアピールすることに繋がります。

classiなどでさまざまなボランティアが案内されているので、ぜひ皆さんにも参加してほしいと思います。

コロナ禍から脱出しつつある中、令和5(2023)年度が始まりました。

欧米文化を導入し、近代義務教育が始まった明治初期は、実は日本の学校も欧米同様9月始まりでした。しかし、税が「税金」となったため、国民(当時は「≒農民」)は秋に収穫した米をお金に換えて納めなければならなくなり、役所はそれを基に次年度の予算を組み、役所はその予算に従って動くため、その過程の所要時間の関係で「年度」(暦とは別の1年間の区切り)の始まりを4月に設定しました。そのため、役所からの予算で動く学校も次第に4月始まりに代わり、大正期には学校の4月始まりが定着したということです。

ちなみに、新学期の開始時期をネットで調べてみると、4月始まりは日本・インド・パキスタン、北半球の欧米系諸国・中東諸国・中国・ベトナム・インドネシアなど多くの国々が9月、韓国は3月、南半球のオーストラリア・ニュージーランド・ブラジルは2月、シンガポール、マレーシア、バングラデシュ、南アフリカは1月ということです。これらの国々、また気になる国について、新学期の時期やその理由、実態について調べてみましょう。

〔国際・探究推進部長 田尻 淳〕